

マツケン理事長がゆく！

20年前に行ったセミナーで「人生の最期はどこで迎えたいか」という問いに、大半の方が「家族に迷惑をかけたくない」という理由で「病院」や「老人ホーム」と答えていました。

日本財団が昨年行った調査では、同じ問いに約6割の方が「自宅」、3割超の方が「医療施設」と回答。残念ながら私たち介護施設は「避けたい場所」として、約4割の「子の家」に次いで3割超の方に挙げられています。

ほとんどの親が人生の最期に「家族に負担をかけたくない」と考えている一方、子は親に「積極的な医療を受けられること」「可能な限り長生きすること」を望んでいる…という実態も示されました。

それぞれの想いや価値観が時代と共に変わりゆく中、私たちに出来ることは何なのか、これからも問い続けて行くのだと思います。ひまわりの丘で暮らす方やそのご家族が、最期に「ここで良かった」と感じてもらえる…そんな場所にしたいものです。

社会福祉法人松栄会 理事長 梶原栄治



地域のお店を紹介します

常盤平中学校周辺

Cafe Nagi(カフェナギ)



1年ほど前に常盤平双葉町にオープンしたカフェをご存じでしょうか？
住宅街を歩いていると急にスペースがひらけ、その奥にかわいらしいお店があります。
店内は、木のぬくもりを感じる空間で、天井も高く時間がゆったり流れています。
本を読んでいる人、居眠りしている人、赤ちゃんを連れているご夫婦、若い男性が一人で…

いろいろな方が、それぞれご自分の時間を過ごされています。

メニューは、モーニング、ランチ(懐かしい昭和スタイルのナポリタン・グラタン・週替わりメニュー)、デザートは、ケーキにパフェと選ぶのも楽しみです。

もちろん♪挽きたての美味しいコーヒーも是非

お楽しみください。

千葉県松戸市常盤平双葉町19-2
TEL:047-721-2886
営業時間:午前9時~午後5時30分
定休日:火曜・水曜



information

特別養護老人ホームを新設予定です！

2年後の令和6年3月、現施設の近隣に新しい特別養護老人ホーム(定員80名)をオープンさせて頂くことになりました。

長引くコロナ禍や労働人口の減少など、多くの課題に直面している難しい時代です。そんな中でも、社会福祉法人として「誰もが幸せを感じることでできる地域社会づくりに貢献する(基本理念より)」ために、また「よるこびと笑顔あふるる温もりケア」を提供し続けるために、前に向かって進んでいきたいと考えています。

今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

シダレザクラズ

コロナにも飽きたので、春らしい話題をひとつ。
ひまわりの丘の裏側には、知る人ぞ知る？しだれ桜の木が3本あります。毎年4月初め頃に満開となり、ご利用者様や職員の憩いの場となっています。

可愛らしいサイズの木なのですが、それでも人を笑顔にしようとする力は凄いな、と思います。

この原稿を書いている今はまだ厳しい寒さが続いているのですが、コロナの夜明けと共に笑顔で満開の春を迎えたいものです。



ひまわり通信

39

2022年3月発行



何気ない日常のひとコマ。偶然とらえた驚きの瞬間。言葉より雄弁に語る表情。一瞬を切り取り表現される写真には、見る人の心を動かす力があります。

恒例となった「ひまわりの丘フォトコンテスト」。職員が撮影した70点を超える応募作品から投票により順位を決定し、表彰をおこないました。

これらの作品の一部は、ひまわりの丘ホームページの「ギャラリー」からご覧いただけるほか、ひまわりの丘地域交流スペースにも展示中です。

さて、次回はどんな素敵な写真に出会えるのでしょうか。楽しみですね。



社会福祉法人 松栄会
ひまわりの丘 広報委員会
千葉県松戸市五香西5-19-8
047-311-2100

ホームページ
<https://www.happy-sunflower.or.jp>



ツイッター
やっています。



ひまわり日記

運試し?

特養の正月行事として「おみくじ」をやりました。

ご入居者におみくじを引いて頂くのですが、職員による「手作りおみくじ」なので、それぞれの個性が出ます。

ユニークな絵柄なものが登場する中、どれにも共通するのが「大吉」か「吉」であること(特にルールとして決めている訳ではありません)。

しかし、実は1枚だけ「大凶」が入っていたのです…それを引き当てたご入居者の何とも言えない表情が印象的でした。

「大凶」と聞くと最悪なイメージを持たれる方が多いのですが、「運の悪さをくじびきで消費(解消)した」「転換点であり、これから先は良くなる一方」と考えれば、前向きに捉えることが出来ますよね。

皆さんも、おみくじをされましたか?

もし「大凶」が出て悲しまなくて大丈夫ですよ!



あんなこと、こんなこと

雪月花

2022年1月6日の午後から降り続いた雪が翌朝、ひまわりの丘を真っ白に包み込みました。ご周知のとおり、関東地方は2~3cmの降雪で交通機関が麻痺状態、転倒者続出の大パニックとなり、ニュースをにぎわせてしまいます。

ただ、「大変だ、大変だ」と慌てふためくばかりではなく、心穏やかに、普段と異なる景色を眺めてみるのもいいかもしれません。

『雪月花』~雪と月と花。四季の自然美の代表的なものとしての冬の雪、秋の月、春の花。四季おりおりの風雅な眺め~カチンコチンに凍り付いた「ひまわりの丘」もまた、風流な眺めです。



What's 松栄会?

元気応援隊

コロナ禍が続く中、皆のために日々頑張ってくれている「看護課」。

各々お気に入りのカツラや着ぐるみでインタビューに臨んでくれました(さすがのサービス精神ですね)。

Q.コロナで大変になったことは?

●マスク+フェイスシールドが嫌だ。もっと可愛い恰好がいい♥

●皆でご飯食べに行けなくなったことが寂しい

Q.おすすめのリフレッシュ法は?

●着ぐるみで変身!

●ベランダでコーヒーorなわとび(200回位跳ぶ)

Q.コロナ終息後にしたいことは?

●皆でお茶会orご飯を食べに行きたい

●ひまわりの丘の行事に着ぐるみで参加したい

Q.ご利用者・職員へのメッセージ

●いつかは明ける。来ない春はない

●もうちょっとです。皆で頑張りましょう!

総勢11名が所属する看護課。皆さんの奮闘に感謝しつつ、元気にコロナの終息を迎えたいですね!



＊ ひまわりの仲間たち ＊

ぬいぐるみと共に



ショートステイで働く坂本ケアワーカーは、筋トレやランニングを日課とし、黒酢やサプリを愛用する健康志向の若者。

そんなマッちょ?な彼が愛するのが、かわいいぬいぐるみ達。

「元は利用者さんのために持って来ていたら、自分がハマった」という彼の一番のお気に入り、アザラシのゴマジロー。自宅には10匹ほどいるそうです。

ホールには彼が持ち込んだぬいぐるみがずらり。「かわいいものを見ながら仕事をするとう率が上がることは、脳科学でも証明されているんですよ」とのこと。

他にもスマートボールを自作したり、色々なおもちゃを用意したりと、利用者さんに楽しんでもらうことに情熱を注いでいます。

「介護の仕事はやりがい大きい。以前やっていたバイトとは全く違う。金じゃないんです」と語る坂本さん、ますますの活躍が楽しみです!

